

拠出金名:ソマリア沖・アデン湾海賊対策信託基金拠出金

国際機関等名	国際海事機関 (英文名称・略称) International Maritime Organization (IMO)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	総合外交政策局海上安全保障政策室				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	1,400,303	13,595	0	1米ドル = 102円	100
平成20年度	0	0	0	—	—
平成19年度	0	0	0	—	—
当該拠出金の目的・用途等	ソマリア及び周辺国の海上取締り能力強化のための支援				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2009年度決算)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入 55,239,691ポンド	
1位	日本	13,595	98.8	当該年度の支出 44,974,438ポンド	
2位	オランダ	72	0.5	次年度への繰越 10,265,253ポンド	
3位	韓国	50	0.4	会計検査機関名	
4位	ノルウェー	41	0.3	インド政府会計検査院	
5位				(現在の構成員の出身国:インド)	
(上位5ヶ国に日本が入っていない場合は、日本の順位、拠出率を明記)					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映)					
IMOは、海上航行安全面の知見に富む専門機関として、ソマリア海賊対策にも積極的に取り組んでおり、2009年、ソマリア及び周辺国が自国の海上保安能力を強化するための行動指針をとり纏める上で中心的な役割を果たすとともに、これを実施するために、関連の安保理決議を踏まえて信託基金を設置した。我が国にとって重要な海上交通路の一つであるソマリア沖・アデン湾の安全を確保するためには、この信託基金への拠出を通じて、ソマリア海賊問題への抜本的取組みを支援することが重要である。IMOはこの信託基金によって実施するプロジェクトの選定等に関し、主要拠出国である我が国の意見を反映させている。					
邦人職員数 うち幹部以上	2人 うち 1人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	144 人 1.3 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
海上安全部長		関水康司			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
資金拠出時に、当該基金の実施プロジェクトチームメンバーに日本人専門家を加えるよう申し入れた。					

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。